平成28年8月1日
第111号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 黒瀬和美
電話 972・5819

夏場の草刈りはきつい作業



午前中の早い時間とはいえ、マスクやエプロンなどの装備で作業は暑さとの戦い

暑中お見舞
申し上げます

農作業の中で一番つらいのは「草刈り」、関係者は口をそろえて話します。実際に気温や湿度の高い時には、長時間の作業は体調に重大な影響を与えることも少なくありません。

当会では、水路周辺の草刈りは、共同作業として日当支払をしています。しかし、水路清掃などのような一斉作業の形を取ってきませんでした。

県や市の担当からの指導で、共同作業について問われることがあります。そこで作業の基準日を設定することを先の総会で提案しました。今月はその第一回目です。

7月3日午前中、たくさんの関係者の作業が行われました。

八方原ふれあい盆踊り

日時　8月6日（土）午後7時より
会場　三角公園（エイワンオート様横）
※雨天の場合　八方原公民館にて開催



今年も暑い夏になりました。夏こそお祭り。

恒例の盆踊り大会を行います。バザーは少し内容が変りましたが、一段と楽しめるように用意しています。

事業所の方々には過分なご芳志を賜りましたこと、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

推進リーダー　本田　昇

交付金の使い道に一段と厳しい指導

6月29日、山口市の担当課が関係団体に「多面的機能支払交付金」の本年度の実施要領について説明を行いました。

地域との関係において「夏祭り行事などへの出費」の是正、業者委託100パーセント工事の場合の交付金の減額など、一段と厳しく踏み込んだ内容になっていました。

交付金が地域の活性化や環境保全について、どのように貢献しているかを、常にチェックしています。

この通信は http://www.harataco.org/sigeki/ で読むことができます

急がれる災害への備え


幼稚園の送迎バスも細心の注意で走行

毎年梅雨の終わりには集中的な雨が降ることが少なくありません。この地域の降雨量だけで無く、湾の干満、椹野川に流れ込む各支流の状況などで、地域の排水が一時的に停滞することがあります。

それらの悪条件が重なると地域内の水路が溢れるということになります。地域内の1班の方々や多くの事業所が利用される市道が浸かってしまうことがこの梅雨では二度ありました。

7月13日の朝からの雨は、市道を数時間にわたって通行困難状態にしてしまいました。

幸い大きな事態には至りませんでしたが、これからも注意が必要です。

お盆を迎えるために墓地の一斉草刈り

7月24日、墓地の草刈りが行われました。これは墓地に関係する人が毎年一度通路などの共有部分を一斉に清掃作業するものです。

この地区には3カ所の墓地があり、それぞれの持ち場があります。中には複数箇所の墓がある場合もあり、二カ所以上で作業することもあります。

特に一番新しい墓地は斜面部分に樹木や雑草が背丈ほどの高さになってしまっています。

除草、伐採は1時間足らずで終了、これでお盆が迎えられます。


歩道のあちこちが草に覆われている

アサガオとひまわり

環境保全とともに景観向上の活動として花壇に花を植えてきています。今年も7月3日にアサガオとひまわりを植えました。

花壇は「すぎな」と呼ばれる雑草に覆われていましたので、まずそれらの一掃から始まります。通常より濃い濃度の除草剤を撒布し約2週間。土壌の改善のために消石灰をすき込んで、酸性度の抑制を図りました。

それから更に肥料を撒布し、土壌が落ち着いたところで、別の場所で育てていた苗を移植したわけです。

時期が遅いので大きく育つことになりませんが、しっかり咲かせます。


僅かな花でも手順はいっしょ

この「カボチャ」何キロ？


カボチャを前に談笑する来店者たち

八方原ふれあい朝市の夏のイベント、カボチャの重量当てクイズ。

今回は3個のカボチャの総重量ということです。それぞれが予想の数字を書き込んで投票箱にいれていました。

7月23日には、カボチャの本体がありません。どうしたことかと関係者に尋ねると「雨の多い時期に育ったせいか腐敗がはじまったので、撤去した」とのことでした。

この小誌が出る頃には、既に投票は締め切られています。ピタリ賞が出ると良いですね。